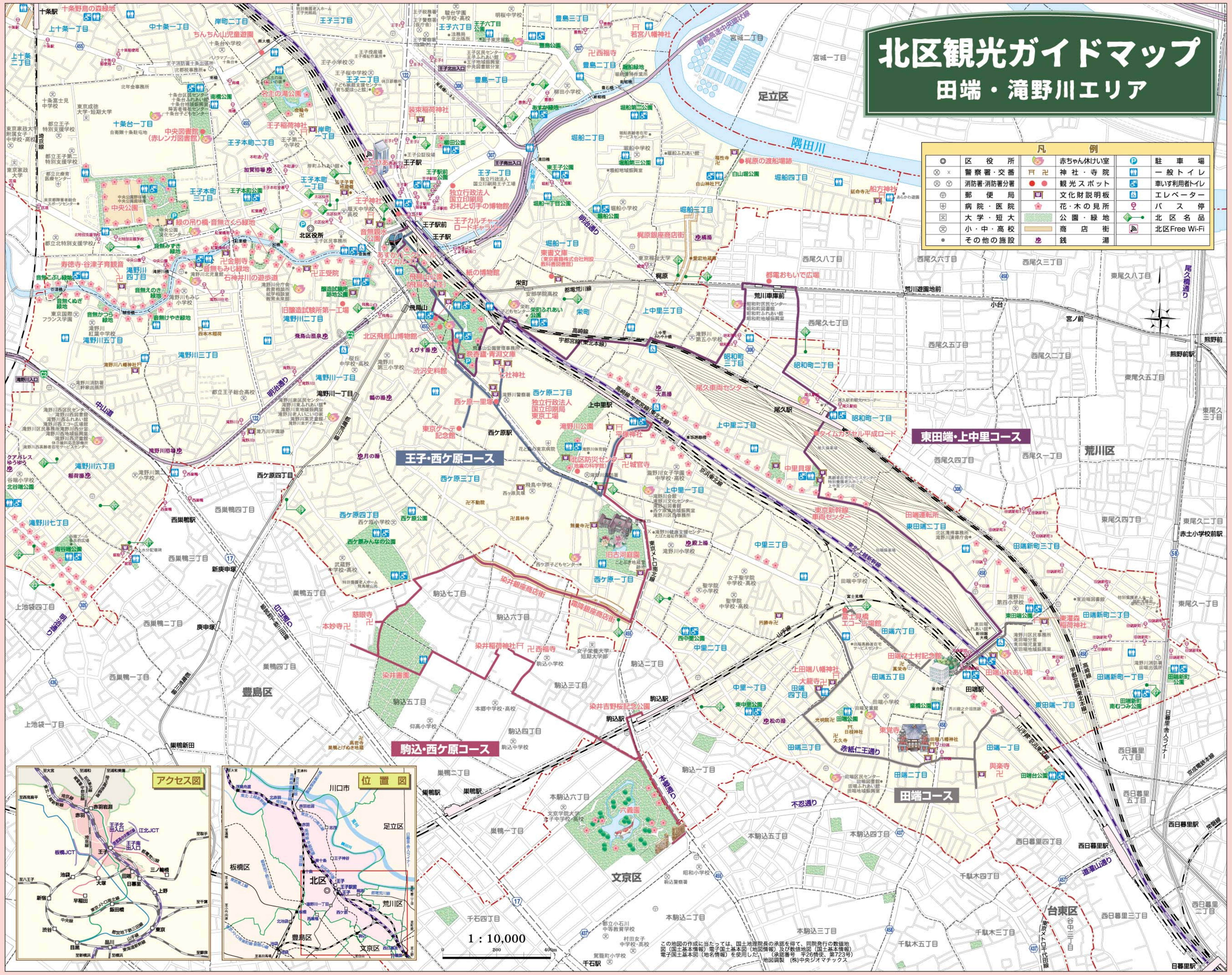
北区観光ガイドマップ
田端・滝野川エリア



王子・西ケ原コース
距離2.7km

- スタート JR 王子駅
- 0.2km 3分
- 1 飛鳥山公園
- 0.2km 3分
- 2 紙の博物館
- 0.1km 2分
- 3 北区飛鳥山博物館
- 0.1km 2分
- 4 渋沢史料館
- 0.4km 5分
- 5 東京ゲーテ記念館
- 0.4km 5分
- 6 西ヶ原一里塚
- 0.1km 2分
- 7 七社神社
- 0.5km 7分
- 8 滝野川公園
- 0.1km 2分
- 9 北区防災センター（地震の科学館）
- 0.3km 4分
- 10 城官寺
- 0.2km 3分
- 11 平塚神社
- 0.1km 2分
- ゴール JR 上中里駅

駒込・西ケ原コース
距離5.1km

- スタート JR 駒込駅
- 0.1km 2分
- 1 染井吉野桜記念公園
- 0.6km 8分
- 2 六義園
- 1.1km 14分
- 3 西福寺
- 0.1km 2分
- 4 染井稲荷神社
- 0.6km 8分
- 5 染井霊園
- 0.2km 3分
- 6 本妙寺
- 0.3km 4分
- 7 慈眼寺
- 0.7km 9分
- 8 染井銀座商店街
- 0.4km 5分
- 9 霜降銀座商店街
- 0.5km 7分
- 10 旧古河庭園
- 0.5km 7分
- ゴール JR 上中里駅

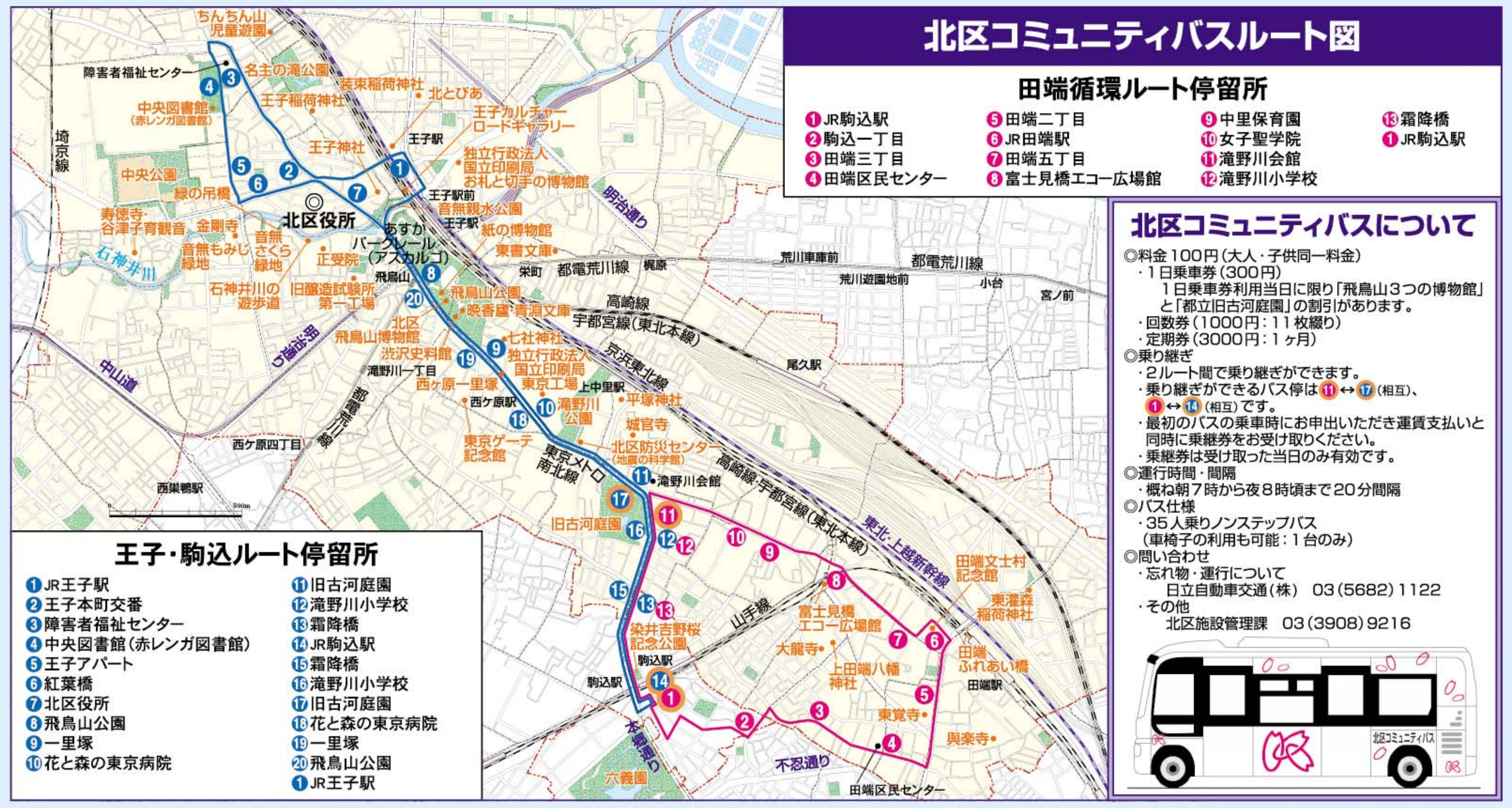
田端コース
距離3.4km

- スタート JR 田端駅
- 0.4km 5分
- 1 東灌森稲荷神社
- 0.4km 5分
- 2 田端ふれあい橋
- 0.2km 3分
- 3 田端文士村記念館
- 0.5km 7分
- 4 富士見橋エコー広場館
- 0.5km 7分
- 5 上田端八幡神社
- 0.1km 2分
- 6 大龍寺
- 0.7km 9分
- 7 東覚寺
- 0.3km 4分
- 8 與楽寺
- 0.3km 4分
- ゴール JR 田端駅

東田端・上中里コース
距離4.8km

- スタート JR 田端駅
- 0.6km 8分
- 1 田端運転所
- 0.5km 7分
- 2 東京新幹線車両センター
- 0.2km 3分
- 3 中里貝塚
- 0.2km 3分
- 4 タイムカプセル平成ロード
- 0.8km 10分
- 5 都電おもいで広場
- 0.5km 7分
- 6 尾久車両センター
- 1.5km 19分
- 7 飛鳥山公園
- 0.4km 5分
- 8 あすかパークレール（アスカルゴ）
- 0.1km 2分
- ゴール JR 王子駅

北区コミュニティバスルート図



田端循環ルート停留所

- ❶JR駒込駅
- ❷駒込一丁目
- ❸田端三丁目
- ❹田端区民センター
- ❺田端二丁目
- ❻JR田端駅
- ❼田端五丁目
- ❽富士見橋エコー広場館
- ❾中里保育園
- ❿女子聖学院
- ⓫滝野川会館
- ⓬滝野川小学校
- ⓭霜降橋
- ❶JR駒込駅

王子・駒込ルート停留所

- ❶JR王子駅
- ❷王子本町交番
- ❸障害者福祉センター
- ❹中央図書館（赤レンガ図書館）
- ❺王子アパート
- ❻紅葉橋
- ❼北区役所
- ❽飛鳥山公園
- ❾一里塚
- ❿花と森の東京病院
- ⓫旧古河庭園
- ⓬滝野川小学校
- ⓭霜降橋
- ⓮JR駒込駅
- ⓯霜降橋
- ⓰滝野川小学校
- ⓱旧古河庭園
- ⓲花と森の東京病院
- ⓳一里塚
- ⓴飛鳥山公園
- ❶JR王子駅

北区コミュニティバスについて

◎料金 100円（大人・子供同一料金）
・1日乗車券（300円）
1日乗車券利用当日に限り「飛鳥山3つの博物館」と「都立旧古河庭園」の割引があります。
・回数券（1000円：11枚綴り）
・定期券（3000円：1ヶ月）
◎乗り継ぎ
・2ルート間で乗り継ぎができます。
・乗り継ぎができるバス停は⓫↔⓱（相互）、❶↔⓮（相互）です。
・最初のバスの乗車時にお申出いただき運賃支払いと同時に乗継券をお受け取りください。
・乗継券は受け取った当日のみ有効です。
◎運行時間・間隔
・概ね朝7時から夜8時頃まで20分間隔
◎バス仕様
・35人乗りノンステップバス
（車椅子の利用も可能：1台のみ）
◎問い合わせ
・忘れ物・運行について
日立自動車交通（株） 03（5682）1122
・その他
北区施設管理課 03（3908）9216

Topics ~City of Kita~

北区ゆかりの文士・芸術家たち

北区には、小説家や詩人、画家や評論家、漫画家など、さまざまな文化人たちが居を構えていました。ここでは、明治、大正、昭和の時代に活躍した人々を紹介します。

芥川龍之介
（明治25年～昭和2年）小説家

国立国会図書館Websiteより

東京都・中央区出身。大正3年、一家で田端435（1-20）番地に新築転入。東京帝国大学時代、久米正雄、菊池寛らと『新思潮』（第3、4次）を創刊。夏目漱石の「木曜会」に出席して、漱石門下となる。「羅生門」「鼻」「手巾」等を次々と発表、一躍文壇の寵児となる。一ノ宮、鎌倉、横須賀、鵠沼にも住んだが、大正8年、田端に戻り本格的に文筆活動を展開。書斎を「我鬼窟」後に「澄江堂」と称す。また、瀧井孝作、室生犀星らと俳句もつくった。たぐいまれな才気と下町人特有の世話好きな性格は多くの人々をひき付け、田端文士村の中心人物となる。昭和2年7月24日「唯ぼんやりした不安」という言葉を遺して自らの命を絶った。

板谷波山
（明治5年～昭和38年）陶芸家

茨城県・筑西市出身。石川県工業学校で7年間教鞭をとったのち、明治36年、田端512（3-24）番地に転入。1年3か月かけて田端に窯を築く。白磁、青磁、彩磁等に格調高い作品を遺した。帝国美術院賞受賞、文化勲章受章。独特なうわぐすり（釉薬）と彫文様とで近代陶芸界の先駆的指導者として活躍。波山の号は郷土の名山・筑波山に由来。墓所は田端の大龍寺。

小杉放庵
（明治14年～昭和39年）画家・歌人

栃木県・日光市出身。明治33年、田端163（3-4）番地に寄宿。40年、155（3-16）番地（谷田川畔）に新築転居。明治35年、「太平洋画会」会員となる。美術文芸雑誌『方寸』同人として画文双方で活躍。明治43、44年頃、山本鼎、森田恒友らと「ポプラ倶楽部」を創設。渡欧後、横山大観に請われて「再興日本美術院」洋画部を主宰。大正9年、同美術院脱会。11年「春陽会」を創立。大正12年まで未醒、のち放庵（～昭和10年頃）、放菴（昭和10年頃～）と号し、主に日本画の制作に転じる。

サトウハチロー
（明治36年～昭和48年）詩人・小説家

東京都・新宿区出身。正岡子規門下の佐藤紅緑の長男として誕生。大正9年頃、自由奔放な生活のため田端543（5-7）番地に暮らしていた福士幸次郎（紅緑の弟子・詩人）に預けられる。15歳のとき、西条八十の門を叩き童謡を作り始めた。小説も書いたが歌謡曲の作詞も手がけ、戦前戦後に「リンゴの唄」「目ン無い千鳥」を始めヒット曲が多数出た。その後は童謡に専心し、新人の育成に努める。北区立滝野川第四小学校校歌の作詞も手掛けている。

田河水泡
（明治32年～平成元年）漫画家

東京都・墨田区出身。日本美術学校在学中、前衛美術団体「マヴォ（MAVO）」に参加。昭和2年、講談社の雑誌に漫画を書き始める。昭和4年、田端155（3-16）番地に転入。田端宅には一時小林秀雄も同居していた。昭和6年、「のらくろ」で一躍人気漫画家となる。10年以上連載の続いた「のらくろ」シリーズ第1作は田端で誕生した。高見沢潤子（小林秀雄の妹）は妻。弟子に長谷川町子らがいる。

竹久夢二
（明治17年～昭和9年）画家・詩人

岡山県・瀬戸内市出身。大正10年頃、モデル・佐々木カ子ヨ（お葉）宅の田端156（3-15）番地に寄宿。苦学時代、投稿したコマ絵が読売新聞に掲載。一時、文学の道を志したが、転じて絵画の道に専心。放浪の生活と悲恋によって傷ついた心を、絵と詩の中に純粋に表現する「夢二式美人画」は、明治末から大正初期にかけて一世を風靡した。画業の他にも詩、短歌、童謡の創作など多彩な活動を行った。

萩原朔太郎
（明治19年～昭和17年）詩人

群馬県・前橋市出身。大正14年、室生犀星の世話で田端311（2-4）番地に約8か月間居住。犀星の詩「小景異情」に感動し親交がはじまる。大正5年には犀星と二人で雑誌『感情』を創刊。翌年、第一詩集『月に吠える』を刊行。わが国の詩壇に口語自由詩の実質的な完成を見る。鋭敏な感覚で現代人の心の奥底を描き、日本近代詩に新境地をひらく。

平塚らいてう
（明治19年～昭和46年）社会運動家・評論家

国立国会図書館Websiteより

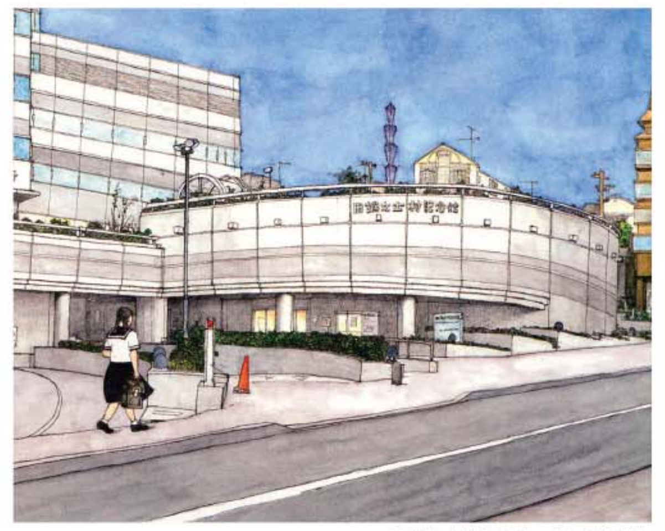
東京都・千代田区出身。大正7年、田端445（2-12）番地に転入。明治44年、婦人雑誌『青鞜』を創刊。主に婦人問題評論家として活躍。大正9年、市川房枝らと「新婦人協会」を結成。昭和5年、「無産婦人芸術連盟」に参加。「国際民主婦人連盟」副会長、「日本婦人団体連合会」名誉会長など歴任。日本における婦人運動のシンボルとして、評論以外にも翻訳、随筆などの著作を残した。

堀辰雄
（明治37年～昭和28年）小説家

東京都・千代田区出身。大正13、14年頃、田端142（3-14）番地の「大盛館」、38（4-9）番地の「紅葉館」などに下宿。府立三中の恩師・広瀬雄の引き合わせで室生犀星を、犀星の紹介で芥川龍之介を知り、生涯の師とする。大正15年、窪川鶴次郎、中野重治らと同人誌『驢馬』を創刊。昭和5年、芥川の死を題材とした「聖家族」で文壇に認められた。

室生犀星
（明治22年～昭和37年）詩人・小説家

石川県・金沢市出身。生後まもなく養子に出され不遇の少年期を過ごす。高等小学校を3年で中退、金沢地方裁判所に給仕として勤務。その頃から文学に目覚め明治43年に初上京、以後下宿を転々とし貧困の作家生活に入る。大正2年に発表した詩「小景異情」に感動した萩原朔太郎との交友は生涯続いた。大正5年、田端に居をかまえ詩壇での地位を築く。一方、小説家としても新境地をひらき、堀辰雄や中野重治らの若手育成にも功績を残す。北区立田端中学校校歌の作詞も手掛けている。


田端文士村記念館　画 安住孝史

History ~City of Kita~

田端物語

多くの文豪・芸術家が暮らしていた田端エリアは、文士村とも呼ばれていました。また近くの染井は、桜の代名詞「ソメイヨシノ」の発祥の地でもあります。

田端の歴史

明治中期まで田端は閑静な農村でしたが、明治22年、上野に東京美術学校（現東京藝大）が開校されると徐々にその姿を変えていきます。上野とは台地続きで便がよかったことなどから美術学校を目指し、学び、巣立った若者たちが田端に住むようになりました。

明治29年(1896)、田端駅が開設され、徐々に新しい住民が増えていきました。

明治33年に転入した小杉放庵を草分けとし、板谷波山、吉田三郎、香取秀真などの芸術家たちが続々と転入。画家を中心とした集まりの場〈ポプラ倶楽部〉が誕生するなど、西洋風の新しい生活様式も敏感に取り入れられ、田端は、閑静な住宅地として知られるようになり、〈芸術家村〉を形成していきました。

大正３年(1914)には芥川龍之介が転入し、大正５年には室生犀星も田端に移り住み、競うように作品を発表し、名声を高めていきます。この二人を中心にやがて菊池寛、堀辰雄、萩原朔太郎、土屋文明らも田端に居を構えるなど、大正から昭和初期にかけて田端は〈文士村〉となったのです。

第二次世界大戦の戦火を受け、昔の面影はなくなりましたが、その歴史を後世に残そうと平成５年(1993)11月、田端文士村記念館が開館しました。

染井の歴史

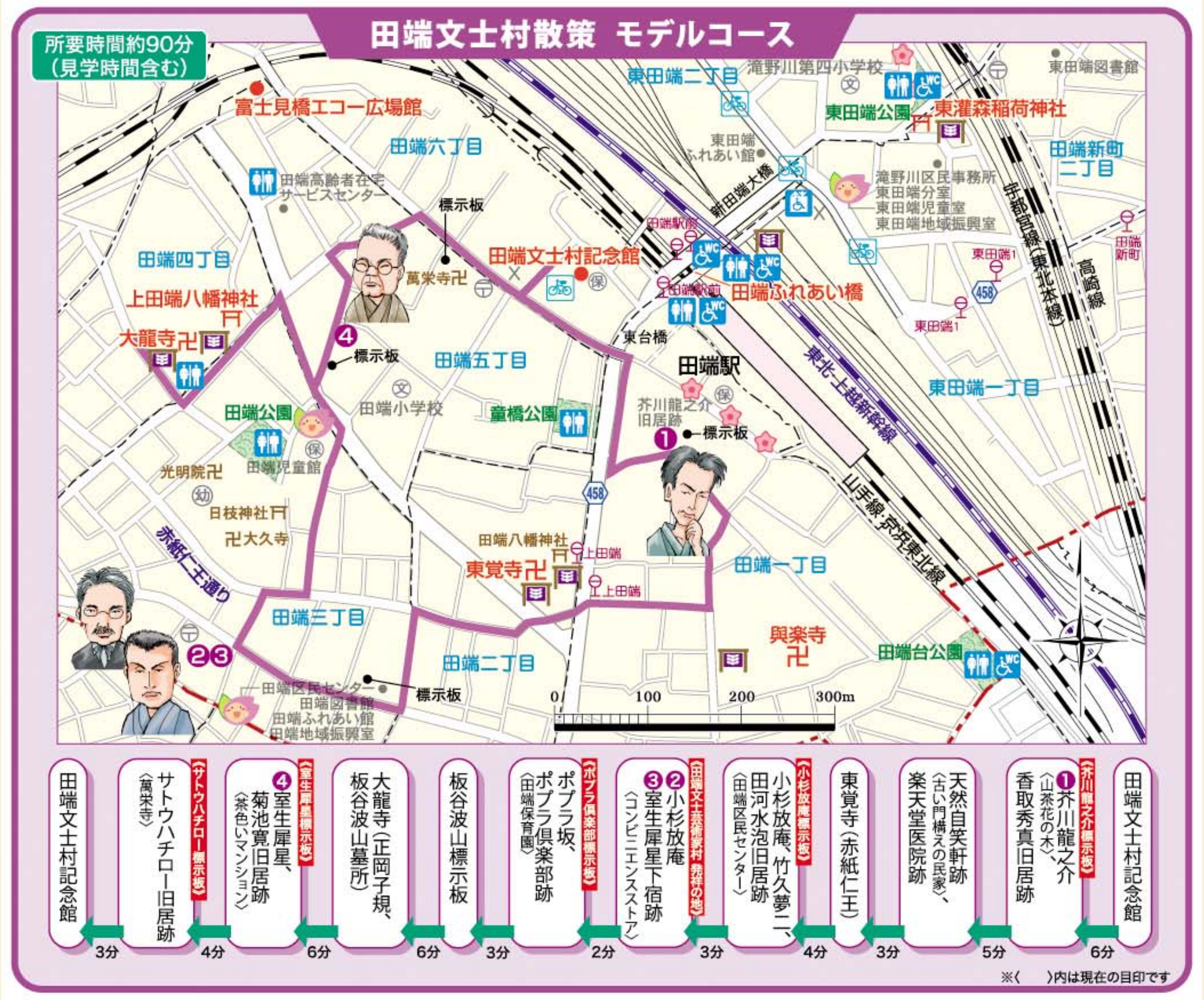
かつて染井村は多くの植木屋が住む、一大園芸センターでした。染井が園芸の中心地となったのは、土地がゆるく傾斜し、水・日照・赤土に恵まれ、植木や花の栽培に適していたことと、付近に六義園などの大名屋敷や吉祥寺などの寺院があり、広大な庭園の管理を染井の植木屋が担っていたからです。染井では園芸研究も盛んに行われ、その中心に位置していたのが、大名の植木職として務めていた伊藤伊兵衛です。伊藤伊兵衛は、代々同じ名を襲名し、特につつじやさつきで有名でしたが、将軍吉宗の政策のもとで飛鳥山に桜を植えたり、滝野川に紅葉を植えたりすることで貢献していました。

いまや全国的に桜の代名詞として名高いソメイヨシノ（染井吉野）は、幕末から明治にかけて、染井の造園師や植木職人によって育成され、「吉野桜」の名前で売りひろめられていました。その名は、明治33年に発行された『日本園芸雑誌』の中で藤野寄命氏が、吉野山の桜（ヤマザクラ）と区別するために「染井吉野」と命名したのが最初と言われています。

参考文献：豊島区史　通史編一、二

田端文士村散策 モデルコース

所要時間約90分（見学時間含む）


田端文士村記念館
6分
❶芥川龍之介、香取秀真旧居跡〈山茶花の木〉（芥川龍之介標示板）
5分
天然自笑軒跡〈古い門構えの民家〉、楽天堂医院跡
3分
東覚寺（赤紙仁王）
4分
小杉放庵、竹久夢二、田河水泡旧居跡〈田端区民センター〉（小杉放庵標示板）
3分
❷小杉放庵 ❸室生犀星下宿跡〈コンビニエンスストア〉（田端文士芸術家村 発祥の地）
2分
ポプラ坂、ポプラ倶楽部跡〈田端保育園〉（ポプラ倶楽部標示板）
3分
板谷波山標示板
6分
大龍寺（正岡子規、板谷波山墓所）
6分
❹室生犀星、菊池寛旧居跡〈茶色いマンション〉（室生犀星標示板）
4分
サトウハチロー旧居跡〈萬栄寺〉（サトウハチロー標示板）
3分
田端文士村記念館
※〈　〉内は現在の目印です
富士見橋エコー広場館
東灌森稲荷神社
田端駅
與楽寺
標示板
0 100 200 300m

Main Point of Flower and Tree ~City of Kita~

花・木の見所

北区には、大きな公園や庭園、川辺、神社・寺社等、自然と触れ合えるスポットが数多くあります。都会のオアシスで、色鮮やかな花・木と一緒の時を過ごしてみませんか？

飛鳥山公園
サクラ（ソメイヨシノ）、アジサイ、イロハモミジ、サザンカ、キョウチクトウ、ヤマモミジ、ツツジ、ヤマブキ

紙の博物館
サクラ（ソメイヨシノ、枝垂れ桜）、ツツジ、ミツマタ、カエデ

渋沢史料館
ウメ、サクラ（ソメイヨシノ、サトザクラ）、ツツジ、アジサイ、モミジ

七社神社
八重桜（御衣黄 ※花は淡い緑色、福禄寿 ※花は大輪の淡い紅紫）

滝野川公園
サクラ（ソメイヨシノ、ヤマザクラ）、ツバキ（ナツツバキ、カンツバキ）、キンモクセイ、コブシ、サツキ、ハクチョウゲ、イチョウ

平塚神社
紅葉（イチョウ）

上田端八幡神社
サクラ、紅葉（イチョウ、ケヤキ）

東覚寺
牡丹

染井吉野桜記念公園
サクラ

六義園
サクラ（枝垂れ桜）、ツツジ、アジサイ、モミジ、カエデ

染井霊園
サクラ（ソメイヨシノ）

旧古河庭園
サクラ、ツツジ、バラ、ウメ、ハナショウブ、ブラシノキ、紅葉

緑の吊り橋・音無さくら緑地
サクラ（ソメイヨシノ）、ヒメシャラ、ツバキ、ヤマモミジ、アジサイ

金剛寺
紅葉

音無もみじ緑地
サクラ（ソメイヨシノ）、ヤマモミジ、オトメツバキ、サザンカ、ヤブツバキ

寿徳寺・谷津子育観音
紅葉、サクラ

Perfect gem ~City of Kita~

北区名品

北区名品は、北区内で生産・販売されている個性的な商品・製品を発掘し、区の内外にPRしているプロジェクト。名品には、食品や実用品、雑貨など49品が選定されています。

田端・滝野川エリアの北区名品

番号	名　品	店　名	所 在 地	電話番号
1	洋傘	丸清洋傘加工所	北区豊島2-6-3（豊島いなり商店街）	03-3919-1822
2	雅楽器	株式会社武蔵野楽器	北区豊島1-5-6 1F	03-5902-7281
3	お札サブレ	鳳産業株式会社	北区豊島2-1-2 山新王子ビル4F	03-3927-8677
4	パン各種	ベーカリー明治堂	北区王子1-14-8（王子銀座商店街）	03-3919-1917
5	久寿餅	石鍋商店	北区岸町1-5-10	03-3908-3165
6	狸最中	和菓子 狸家	北区王子本町1-23-1	03-3908-3004
7	おうじロール	ランギャール	北区王子本町1-18-9	03-5924-0422
8	扇屋の厚焼玉子	王子 扇屋	北区岸町1-1-7	03-3907-2567
9	菊地の靴	ダイナス製靴株式会社	北区王子本町1-5-13	03-3908-1754
10	あんドーナツ	王子製餡所	北区王子本町3-10-2	03-3900-5576
11	革製品	オーダーR	北区堀船3-32-3（梶原銀座商店街）	03-6240-8176
12	都電もなか	菓匠 明美	北区堀船3-30-12	03-3919-2354
13	らんちゅう	らんちゅう宗家三世・石川	北区栄町26-3	03-3911-5693
14	甘納豆	関の甘納豆	北区滝野川2-7-7	03-3910-2693
15	一筆せん3種	公益財団法人 渋沢栄一記念財団 渋沢史料館	北区西ケ原2-16-1	03-3910-0005
16	MARY mary(子ども用自転車)	株式会社玉越工業	北区昭和町2-14-10	03-3800-0430
17	滝野川かすていら	御菓子司 虎月	北区滝野川6-55-2	03-3916-0338
18	豆大福	平塚亭つるをか	北区上中里1-47-2	03-3915-0277
19	纏最中	御菓子司 梶野園	北区西ケ原4-65-5	03-3910-5760
20	亀の子束子	株式会社亀の子束子西尾商店	北区滝野川6-14-8	03-3916-3231
21	華興餃子	中国料理 華興	北区滝野川6-9-11	03-3916-1252
22	焼きたて手巻海苔	株式会社小川海苔店	北区滝野川7-32-13	03-3915-7079
23	生ソース	トキハソース株式会社	北区滝野川7-39-8	03-3916-7181
24	煮ぬき汁	株式会社イナサワ商店	北区西ケ原1-7-1	03-3918-4945
25	北くるり(トイレットペーパー)	NPO法人 北区リサイクラー活動機構	北区田端5-16-1	03-3824-3196
26	松阪牛メンチかつ	なりきや精肉店	北区西ケ原1-55-9（霜降銀座栄会）	03-3910-7329
27	ナイトオカリナ	株式会社大塚楽器	北区田端新町1-5-7	03-3893-8422
28	揚最中	御菓子司 中里	北区中里1-6-11	03-3823-2571